

# 身近な自然を調べてみよう

## ■プログラムの概要

ねらい	身近な校庭や学校周辺の動植物を観察することで自然に関心を持つようになり、自然を大切にすることを育てる。		
キーワード	いきもの、身近な自然		
対象	小学3年～中学1年		
時間	70～125分	実施場所	校庭、学校周辺
使用するもの (観察方法： 三種類)	<p>A：ピンゴカード、シール、画板、虫眼鏡、プラスチック容器又はビニール袋、筆記用具</p> <p>B：学習シート、シール、画板、虫眼鏡、プラスチック容器又はビニール袋、筆記用具</p> <p>C：白地図、画板、学習シート、虫眼鏡、プラスチック容器又はビニール袋、筆記用具、図鑑、模造紙、マジック</p>		
全体の流れ	<p><b>A. 自然観察ピンゴ</b> (低学年向き)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルール説明</li> <li>2. ピンゴカードをもとに自然観察</li> <li>3. ピンゴの答えあわせとふりかえり</li> </ol>	<p><b>B. 自然観察ウォークラリー</b> (中学年向き)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ルール説明</li> <li>2. 学習シートをもとに自然観察</li> <li>3. チェックポイントを歩いて答えあわせとふりかえり</li> </ol>	<p><b>C. 環境探検</b> (高学年以上)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の流れ、目的説明</li> <li>2. 校庭などに出て環境探検・観察(お気に入りの樹木をスケッチ)</li> <li>3. 教室に戻り観察した動植物について、図鑑調べ</li> <li>4. まとめ</li> </ol>

## ■進め方

### A. 自然観察ビンゴ

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	<ビンゴの説明> ビンゴのルールを説明する。 班内での役割分担を決め、(シール貼り、動植物の採集、虫眼鏡観察など)、学習シート・道具を配布する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・範囲とルールの徹底。</li><li>・班全員に役割を持たせ協力するよう促す。</li></ul>
40分	<ビンゴの実施> 事前に下見して観察できた自然物を9つ選んでおく、ビンゴカードを作っておく。低学年は、写真だけのビンゴを作り、見つけたものにシールを貼る方法がよい。	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全管理。</li><li>・班行動ができているか確認。</li><li>・ビンゴの内容のアドバイス。</li></ul>
20分	<ふりかえり・まとめ> ビンゴの内容をふりかえりながら、答えなどを説明する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・いくつビンゴできた？</li><li>・何が見つからなかった？</li><li>・みんなに自慢したいものはあった？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・できたことをまずほめる。</li><li>・特別な発見はみんなで確認。</li><li>・生き物を捕まえていたら、自然にかえすよう促す。</li></ul>

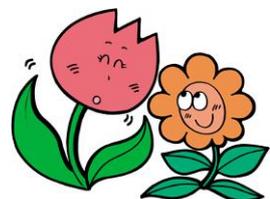
### B. 自然観察ウォークラリー

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	<ウォークラリーの説明> ウォークラリーのルールを説明する。 班内での役割分担を決め(シール貼り、動植物の採集、虫眼鏡観察など)、学習シート・道具を配布する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・コース範囲とルールの徹底。</li><li>・班全員に役割を持たせ協力するよう促す。</li></ul>
30分	<ウォークラリー実施> 事前に下見して観察してもらいたい自然物をチェックポイントとして選び出し、設問を作っておく。 各チェックポイントの回答を書き込む学習シートも作っておく。	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全管理。</li><li>・ポイントでの出題などの指導とアドバイス。</li><li>・班行動ができているか確認。</li></ul>
30分	<班ごとにふりかえり> チェックポイントを歩きながら答え合わせとふりかえりを行う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・何が見つからなかった？</li><li>・みんなに自慢したいものはあった？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全管理。</li><li>・全員に聞こえるように話す。</li><li>・生き物を捕まえていたら、自然にかえすよう促す。</li></ul>

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	<p>&lt;全体のまとめ&gt; みんなに自慢したいものはあった？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な発見はみんなで確認。</li> </ul>

### C. 環境探検

時間	学習内容	指導上の留意点
20分	<p>&lt;説明&gt; 教室で授業の流れと目的を説明する。班内での役割分担を決め、学習シートなど資料を配布する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外へ出る場合は、観察範囲を守るよう徹底する。</li> <li>観察方法のアドバイス。</li> <li>テーマ別に班分けを行ってもよい。</li> </ul>
45分	<p>&lt;環境探検&gt; 校庭などで観察したものを地図や学習シートに書き込んでいく。 環境探検の他に、次のような活動も行うとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校庭などで各自が気に入った樹木を選び、その当日の樹木の様子をスケッチする。</li> <li>一枚だけ、お気に入りの樹木の葉っぱを教室に持ち帰る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理。</li> <li>葉っぱはとりすぎないようにする。</li> <li>樹木の名前などが分からなくても後で調べるので、よく観察するよう伝える。</li> <li>生き物を捕まえていたら、自然にかえすよう促す。</li> </ul>
30分	<p>&lt;図鑑調べ&gt; 教室に戻り、探検して見つけた動植物などを図鑑で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの樹木や葉っぱについて調べる。</li> <li>葉っぱを学習シートに貼り付け、葉っぱの様子や手ざわり、におい、など特徴を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな地図に観察結果をまとめてもよい。</li> </ul>
30分	<p>&lt;まとめ&gt; 児童や生徒に問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような動植物を見つけたか</li> <li>その特徴はどんなところか</li> <li>その他、校庭などでどんなものに気がついたかなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが聞くように注意</li> <li>発展として、お気に入りの樹木を「マイツリー」として、年間を通じて観察することもできる（「マイツリーを観察しよう」参照）。</li> </ul>



## ■使用するもの

### A. 自然観察ビンゴ

物 品 名	数 量	備 考
学習シート	1 班 1 枚	「校庭のいきものかんさつ」
シール	1 班 9 枚	ビンゴの数だけ
画板	1 班 1 枚	
※虫眼鏡	1 班 1 個	
※プラスチック容器又はビニール袋	1 班 1 個	採取したものを入れる
筆記用具	1 班 1 セット	シールを使わない場合

※は、あると便利なもの

### B. 自然観察ウォークラリー

物 品 名	数 量	備 考
学習シート	1 班 1 枚	「自然観察ウォークラリー問題回答集」
シール	1 班 10 枚程度	チェックポイントの数だけ
画板	1 班 1 枚	
※虫眼鏡	1 班 1 個	
※プラスチック容器又はビニール袋	1 班 1 個	採取したものを入れる
筆記用具	1 班 1 セット以上	

※は、あると便利なもの

### C. 環境探検

物 品 名	数 量	備 考
白地図	1 班 1 枚	校庭や公園などの白地図。直接書き込めるように大きめの方がよい。
画板	1 班 1 枚	
学習シート	1 班 1 枚又は 1 人 1 枚	「環境探検学習シート」
※虫眼鏡	1 班 1 個	観察内容によっては双眼鏡も
※プラスチック容器又はビニール袋	1 班 1 個	採取したものを入れる
※図鑑（動植物関係）	適宜	学校の図書室にあるものでよい
筆記用具	1 班 1 セット以上	記録方法によってはデジカメも
模造紙	1 班 1 枚	
マジック	1 班 1 セット	

※は、あると便利なもの

## ■実施にあたって留意する点

- ビンゴカード（自然観察ビンゴ）や、チェックポイント・設問（自然観察ウォークラリー）に出でこない生き物を発表させる。自然には、想像しているよりも多くの生き物が存在している事を気づかせる。
- 発展として、お気に入りの樹木を「マイツリー」として、年間を通じて観察することもできる。（「マイツリーを観察しよう」参照）